

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果資料

【小学校 国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 【知識及び技能】 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◇全国平均を上回っている。 「情報の扱い方に関する事項」 ◇全国平均を上回っている。 【思考力・判断力・表現力等】 「話すこと・聞くこと」 ◇全国平均を上回っている。 「書くこと」 ◇全国平均を上回っている。 「読むこと」 ◇全国平均を上回っている。	●話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 ●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ●相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 ●目的に応じて必要な情報を見付けることができる。	○目的や相手に応じた話し方や文章の特徴を捉え、実際に話したり書いたりする活動の充実 ○文章や資料から得た情報を分類・整理し、図や表、思考ツール等を活用し、情報同士の関係を整理・可視化する活動の充実 ○構成メモや思考ツールを活用して、話す内容を整理する活動の充実 ○目的を明確にして文章や資料を読み、必要な情報を探し出し、選択・整理する活動の充実

【小学校 算数】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

【数と計算】

◇全国平均を上回っている。

【図形】

◇全国平均を上回っている。

【測定】

◇全国平均をやや上回っている。

【変化と関係】

◇全国平均を上回っている。

【データの活用】

◇全国平均を上回っている。

●異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できる。

●示された情報に基づき、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができる。

●単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できる。

●二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。

○数直線や図などを利用して分数の大きさを比較し、その理由を数や言葉を用いて説明する活動の充実

○数直線や図などを利用して時刻や時間の関係を整理し、示された条件から必要な数量を見いだして時間を求める活動の充実

○具体的な場面について図を用いて単位量当たりの大きさの意味を捉え、商の意味に着目して数量を比較・判断する活動の充実

○実生活に関わる資料やデータを表に整理し、表から読み取った情報を、友達と確認・説明し合う活動の充実

【児童質問紙から】（抜粋）

「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と答えた子どもの割合は、全国平均を上回っている。

「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と答えた子どもの割合は、全国平均を上回っている。

「学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う」と答えた子どもの割合は、全国平均を上回っている。

「算数の勉強が好きです」と答えた子どもの割合は、全国平均を上回っている。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と答えた子どもの割合は、全国平均を下回っている。

「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」と答えた子どもの割合は、全国平均を下回っている。

「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と答えた子どもの割合は、全国平均を下回っている。

今回の調査結果から、本校の児童が、日々の学習において、課題の解決に向けて自分で考え、自分から意欲的に取り組んでいることが分かりました。また、学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていることも分かります。さらに、算数の学習を好意的に捉えている児童が多く、考え方を説明する活動にも意欲的に取り組んでいることがうかがえます。

一方で、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と回答した児童が全校平均を下回っていることから、友達の考えを聞き、自分の考えと比較したり、新たな視点を得たりすることができるよう、話し合い活動の工夫や教師の関わりを意識した授業づくりに取り組んでいきたいと考えております。

また、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫すること」や、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表すること」についても、全校平均をやや下回っていることから、児童が自分に合った学び方を選択したり、資料の活用や話の組み立てを工夫したりする場面を授業の中で意図的に設定し、主体的に学ぶ力や表現する力を育てていきたいと考えております。

「人と違う意見を言っても否定されない」と感じている児童が多いという本校のよさを生かし、互いの考えを認め合い、それぞれの意見のよさを生かしながら、よりよい考えや解決方法を見いだすことができる学級づくりを進めていきたいと考えております。